



2021年3月12日

森と海の自然科

## 淀川河口の矢倉海岸、大野川緑陰道路散策（報告）

大野川緑陰道路は区民の宝です  
元気に楽しく歩いて発見!!

- 1：日 時～令和3（2021）年3月11日（木） 10時30分～14時30分
- 2：集合場所～阪神難波線出来島駅
- 3：参加者～25名
- 4：行 程～約7Km

阪神難波線出来島駅集合⇒大野せせらぎの里（大野下水処理場の安定地公園）⇒西島住吉神社⇒西島水門⇒矢倉海岸（弁当）⇒西島水門⇒大野川緑陰道路（新淀川公園・福稲荷/住吉神社・阪神福駅解散）（14時30分）

\*弁当を食べた場所には、「四阿」があります。「四阿」は「あずまや」と読みます。

この日は、とても素晴らしい天気にも恵まれ、清々しい一日を過ごすことが出来た。この矢倉海岸散策計画は、今まで2回流れてしまい、3度目の計画でやっと実現できた。

矢倉海岸は、人工とはいえ、大阪市内で唯一「石畳の海岸」が整備されている。また、大阪市内の野鳥観察ポイントの1つである。カモやカワウなどの水鳥が見られた。

矢倉海岸は、市内では珍しく、コンクリート護岸のない海水面と接する公園で、自然石を用いた荒磯自然護岸や水に触れあうことが出来る「潮だまり」があり、通水管を通ってきた小魚やカニ・フジツボ・フナムシなども見ることが出来るのだそうだが、今日は残念ながら一匹もこれらの生き物には出会えなかった。

大野川緑陰道路～大野川は、年々河川としての機能が低下し、河川汚濁による悪臭が激しくなり、公害対策と環境改善を目的として、昭和45年～昭和47年度にかけて大野川の埋め立て工事が行われ、緑豊かな散策道路、サイクリング道路とすることが決定された。

この大野川緑陰道路は、八丁大橋跡から淀の水橋跡間の約3.8Kmで、巾員は、19m～47mある。今では、散歩道として、健康づくりの場として親しまれ、区民の憩いの場となっている。

今日の「万歩計」は、15400歩でした。足の長さで歩数が変わるって、本当？ 良く歩きました！！



矢倉海岸での全体写真



淀川河口の矢倉海岸



潮だまり